

令和5年第4回定例会 傍聴者(一般)アンケート集計結果

定例会アンケートにご協力いただきありがとうございました。
皆様のご意見を議会活動に反映するよう努めます。
アンケート結果は、ホームページにも掲載しております。



他のご意見等は
こちらから

アンケート回収日	傍聴者数(高校生を除く)	回答者数	回収率
6/2~6/14	38	13	34.2%

意見

議会を傍聴されて気づいた点、ご意見をいただきました

回答

文章を読み上げるだけの答弁なら、文書で十分かと思いました。該当課長さんだけでなく、他の課としての考えも聞けると、その問題について職員みんなで考えていることが聞けると思ったのですが、今回は横のつながりがないことを感じる議会でした。

議員の質問通告書に対し、執行部は会議を開き答弁の内容を決めているため、答弁は行政としての総合的な判断によるものと認識しております。

町からの回答にある、町民への周知は「広報・町のHP」では本当に有効な手段なのか？一方通行ではないのか？有効性の検証を願う。相互通行の周知方法が必要に感じる。

広報・HPによる周知も有効な手段であると考えていますが、今後よりよい周知のあり方について、町民のみならず意見などを踏まえ議会としても検討してまいります。

質問の背景説明が長く専門的な表現も多く、意図がわかりづらいことがあった。質問の意図がわかるようになるべく簡潔に工夫して欲しい。(特に今回、学生が参加していたので理解できたか不安です)

質問者それぞれに個性があり、質問の仕方も様々ですが、質問の意図が伝わらないことは、質問者、執行部、傍聴者それぞれにとって残念なことです。質問の構成など工夫をしてより良い質問をしてまいります。

町からの回答「財源がないので考えていない」は、町民として失望です。できることは何かを考え町政を進めるべきではないでしょうか。

財源確保のための手段や、事業展開をするうえで段階的に行うべきことなど、実現の可能性を高めるため方法論についても、議論してまいります。

議会又は議員について、ご意見をいただきました

議員は質問、行政は回答という形は変わっていません。互いに用意されている文章を読み上げているだけかなと思う。生きた言葉や考えを聞きたい。質問者は議長席前の発言席を使用して、傍聴者を向いても良いのでは。

質問・回答とも原稿を読むだけでは、真剣さが伝わらないのは事実です。また、打合せも必要ですが、その点も検討してまいります。

議員さんの普段の活動が見えてきません。もっと町民の意見を聞いて下さい。

町民の皆さんとの意見交換を企画しておりますが、まだまだ不足しておりますので増やすことを検討してまいります。

私の認識としては、議員は質問に際して当該の問題について、自らの考えや情報を持ったうえで、それを踏まえて当局の見解や回答を求めるものだと思っていました。しかし、傍聴していると、何の見識も持たない(持っていないように見える)まま、町の見解だけを求めているように聞こえる質問が何と多いことか。

一般質問は、執行部の回答を求めるだけでなく、自らの意見を主張する機会でもありますので質問の質向上に努めてまいります。

第3期 議会広報モニターを決定・広報モニター会議を開催

町民と議会議員との結びつきを強くし、皆さまの意見を議会広報紙編集及び議員の活動に反映させることを目的として、議会広報モニターを募集し、阿久津絢子さん、安藤秀行さん、大森登美子さん、永田優子さん、中村英幸さん、平山重一さん、吉田恵介さんの7名に委嘱しました。



令和5年5月26日(金)に委嘱式を行い、その後、令和5年度第1回議会広報モニター会議を開催しました。4名のモニターから今回も貴重なご意見を多数いただきありがとうございます。今後もよりよい紙面づくりに努めてまいります。



モニターからの意見

○文字の大きさや量

- ・文字が大きくて読みやすい。
- ・文字が多いページはあまり見ない。
- ・写真が多いと見たいと思う。

○第168号の議員紹介のページについて

- ・もっと議員の素顔が知りたいと思った。
- ・このコーナーが定期的にあっても良いと思う。
- ・議員との距離が縮まると思う。

○表紙について

- ・撮影者が議員とは知らなかった。撮影者を記載してはどうか。

○一般質問ページの議員の写真(第168号から初めて一般質問中に撮影したものを使用)

- ・臨場感があってよい。

○その他

- ・議員見聞録で、高久小学校の150周年記念を取材してほしい。

総務産業常任委員会 行政視察

5月17日と18日に総務産業常任委員会として行政視察を実施しました。
宮城県女川町と福島県大熊町を訪問し、
町民主体のまちづくりや廃校利用について学びました。

宮城県 女川町 (5月17日)

調査テーマ

- ・女川町まちづくりデザインについて
- ・女川町民会議について
- ・若者支援について

東日本大震災時、津波による壊滅的な被害を受けた女川町。若い世代に将来を託し、町民が主体となった公民連携のまちづくりは、復興の大きな力になったという。特に、駅前の賑わい創出の仕組みやコンパクトな市街地形成等、那須町においても参考にすべき点がたくさんあった。地域活性化のために活かしたい。



女川駅から続くテナント型商店街「シーバルピア女川」

福島県 大熊町 (5月18日)

調査テーマ

- ・大熊インキュベーションセンターについて
- ・廃校した小学校の利活用について
- ・若者支援について

東日本大震災以降、いまだ多くの町民が町外で避難生活を送る大熊町。「大熊インキュベーションセンター」は、廃校を活用した施設で、町の新たな産業の創出や若手企業の育成を目的としている。起業支援の体制や設備が充実しており、短期間で多くの企業誘致に繋がるのも頷ける。起業支援は、移住促進を図る那須町においても今後重要になると思われるため、今回の視察内容をもとに、町へ働きかけたい。



大熊インキュベーションセンター内のコワーキングスペース



旧大熊小学校

全国改革度調査で全国第29位に!

県内1位!

早稲田大学マニフェスト研究所が実施した全国改革度調査2022(※)で、那須町議会は、ICTの活用などの「議会機能強化」が評価され、過去最高の第29位となりました。県内では本町は第1位(2位は那須塩原市、第3位は宇都宮市)になりました。また、町村別では、全国第7位、関東地方では3年連続第1位となりました。

今後も更なる議会改革に取組み、町民の皆様の負託に応えられる議会運営を目指してまいります。

※調査対象期間は2022年1月1日から2022年12月1日、都道府県及び市区町村議会全1,788議会中1,416議会が回答した調査

9月定例会の予定 9月1日(金)～9月19日(火)

9月						
日	月	火	水	木	金	土
					1 定例会 開 会	2
3	4 一般質問 (第1日)	5 一般質問 (第2日)	6	7 常 任 委員会	8 常 任 委員会	9
10	11 常 任 委員会	12 決 算 審 査 特別委員会	13 決 算 審 査 特別委員会	14	15 予 算 審 査 特別委員会	16
17	18	19 定例会 最終日	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

議員全員協議会 傍聴のご案内(8月から10月)

8/25(金)、9/27(水)、10/25(水)
時間 午前9時～

※開催予定は変更する場合がありますので、
予めご了承ください。

議会のスケジュールは、
町ホームページ「那須
町議会カレンダー」か
ら確認できます。



6月本会議をイン
ターネットで動画配
信しています



議員の寄付行為の禁止について

公職選挙法の規定により、議員がお中元などの物を贈る寄附、地域への催し物への寄付や差し入れすることは禁止されています。

また、議員に対し、寄附を出すよう勧誘する、また要求することも禁止されています。皆さまのご理解をお願いいたします。

スマートフォンやタブレット端末から
なすまち議会だよりを読むことができます

TOCHIGI ebooks(栃木イーブックス)



マチイロ



音訳版

今号は
9月中旬頃掲載予定。



編集室

私たちは、議会に関わる情報を、わかりやすく町民の皆様にお伝える役割を担っています。

町民の皆様は、議会の活動や意思決定プロセスに関する理解を深めていただく事で、地域の人々が議会に関心を持ち、積極的に参加頂ける様に努めています。また、町民の声や意見を議会に届ける手助けもしています。

是非、お気軽に声をお寄せ下さい。

小山田 典之

議会広報特別委員会

委員長 関 幸夫
副委員長 小山田 典之
委員 増山 このみ
委員 三浦 陽子
委員 木村 秀一

本紙はボランティアの協力により音訳版を作成しています。詳しくは議会事務局までお問合せください。

町民の声

上町

はしもと みつお
橋本 光生 さん



那須町は交通基幹に恵まれ、観光資源を有し近隣他町村より極めて好条件の立地にあります。

全国的な傾向に漏れず、本町も少子高齢化が顕著に出ています。見方を変えれば各企業で経験を積んだベテランが揃っていることにもなります。

アクセスの好条件は滞在時間の短縮という諸刃の面もありますが、町外から来訪された方たちを、より多くの場所を訪れ、少しでも長く町内で過ごして、満足感と再訪意欲を持てるような施策を、行政任せではなく、町民誰でも提案でき、それを公表し、誰もが批評でき修正提案、再公表を繰り返しながら、より有効な対策を磨き上げていければ、活性化が図れると考えます。観光のみならず全般に皆で町創りが活力の源になります。

那須高等学校 傍聴席

むろい そうた
室井 颯太 さん

私が傍聴したのは「子育て」に関することで、子どもたちがどうしたら暮らしやすくなるかという議論を聞きました。

議員がどのように那須町をより良くしていくか話している姿を見て、私もどうしたら那須町が暮らしやすい町になるのだろうかと考えさせられました。



しのぎき ようせい
篠崎 陽生 さん

議会を傍聴して、こんなに那須町のことについて議論しているのかと感じました。質問に対して回答することもとても大変そうで、議会というのは様々な方の協力できているのだと思いました。私が成人になったら、選挙などで間接的にでも政治に参加できればと思いました。



いとう みさき
伊藤 美咲 さん

私は今回初めて議会を傍聴しました。その中で「サーキュラーエコノミー」という言葉がとても印象に残っています。私は環境を良くすることを考えた時、ゴミを再利用することしか思いつきませんが、サーキュラーエコノミーはゴミを出さないという考えでした。今回の議会傍聴では新しい知識や考え方を知れたりすることができました。



みかみ きょうへい
三上 恭平 さん

私が聞いた内容は「電気自動車のあり方」という議題でした。電気自動車を購入した方へ補助金が出るのか、道の駅に設置されている充電設備を増設するのかという話を議論していました。議員の方の鋭い質問に、冷静に回答していく姿勢がとても面白く、興味をそられる議論でした。



表紙の紹介

暑さに負けず、園庭で元気にお友達と水遊びを楽しむ園児たち

発行 栃木県那須郡那須町議会
発行人 那須町議会議員 室井高男

〒329-3292 栃木県那須郡那須町大字寺子丙3-13
TEL 0287(72)6926 FAX 0287(72)6933

レポート
第9弾

“見守り弁当「あかりキッチン」の巻”



須貝さん 川崎さん 若松さん

「あかりキッチン」は、大島地区で食事交流会や一人暮らし高齢者などに見守り弁当の配達を行って、8年目になります。

毎週火曜日の見守り弁当の配達日には、お弁当作りから配達までの全てを少ないメンバーで行っています。代表の川崎さんは「大変なこともあるけれど、お弁当を心待ちにしてくれている利用者さんを思うと頑張れます。利用者みなさんは家族のように大切な存在です。」と笑顔で話してくれました。



配達日は朝8時からお弁当作りが始まります。次々と手際良く作られていきます。



旬の食材を生かし、工夫して作られたお弁当は彩りや栄養バランスもよく、利用者みなさんにも大変好評です。



配達時の交流も大切にしています。

利用者みなさんも「火曜日が待ち遠しい。おしゃべりする時間が楽しみ。」「手作りのお弁当は本当にありがたい。」と話してくれました。

所在地：那須町大字高久丙5375-2
(穂積公民館のとなり)
問合せ先：090-1664-3323(川崎)

見聞後記

美味しいものを食べてほしいというあたたかい思いで、8年も続いている活動に感銘を受けました。見守り機能も担うこの取組みはとても貴重だと感じ、これからも継続してほしいと思う一方で、人員や運営資金の不足などの課題が見受けられました。このような、地域を支える活動に対して町がサポートする仕組み作りが重要と感じました。